

【循環経済関連資料 翻訳21】

循環経済を大いに発展させ、着実に生態省建設事業を推進する

2005年9月12日

張力軍 第三回目 生態省建設フォーラム発表

今日、ここ美しい青島で国家環境保護総局と山東省政府が共同で第三回目の生態省建設フォーラムを主催するにあたり、私は国家環境保護総局と解振華局長を代表して、会議の開催に対して熱烈な祝賀の意を表します。このフォーラムに参加される各省・自治区の指導幹部、専門家や代表、及びジャーナリストの皆さんに熱烈な歓迎の意を表します。

1999年から、海南省が生態省を建設することを提出して以来、この事業は各省（市、区）の党の委員会、政府から高度な重視と積極的な呼応を得られた。短い6年の間に、生態省建設事業は、小さいことから大きいことになり、点から面へ、生き生きとした局面を迎えるようになった。党中央や国務院から高い評価を得られた。胡錦濤総書記は「中央人口資源環境工作座談会」において、生態省建設事業を十分に肯定し、国務院は生態省建設事業を仕事の要点に組み入れた。実践が証明したように、生態省建設事業はすでに科学的発展観を樹立、実行するための具体的な行動となり、省を跨る地域経済、社会と環境の調和した発展の有効な担体となり、社会主義の調和した社会を構築するための重要なアプローチとなっている。以下に、私は生態省建設事業について幾つかの意見を述べる。

一、生態省建設事業は着実に前進し、喜ばしい成果を獲得した

近年以来、各省は生態省建設事業の実施を強化し、組織指導、政策法規、体制メカニズム、資金項目などの面において、一連の顕著な施策を講じ、生態省建設事業を絶えまなく深化させ、全面的に押し進めている。

(一) 生態省建設事業は盛んに発展し、活気に溢れている

生態省建設事業を通じて、我が国の国情に適合した発展の道を探し出し、各地は生産が発展し、生活が裕福で、生態系が良好である文明への発展道路を歩むことを推進できることは、すでに共同認識となっている。

現在、海南省、吉林省、黒龍江省、福建省、浙江省、山東省、安徽省、江蘇省の8つの省が生態省建設事業を展開している上に、河北省の「生態省建設事業計画要綱」はすでに国家の論証を通過し、陝西省は生態省建設の指導グループを成立し、現在、生態省建設の計画要綱を編集している。また、四川省、天津市、広西自治区も関連の調査研究を展開し、生態省（市）の建設計画要綱を編制し始めている。遼寧省はすでに省内で循環経済のモデル事業を展開した。全体的に見れば、全国31の省（自治区、直轄市）の中、すでに14個が生態省建設事業を展開したか、展開しようとしている。全国における生態省建設事業は、盛んに発展する勢いを現している。

生態省建設事業を推進するために、浙江省、山東省、安徽省は前後して全省において生態省建設事業の動員大会を開催し、取組みの内容を割り振った。山東省の共産党委員会、省政府は「生態省建設事業を加速するための意見」を制定し、山東省における生態省建設事業の主要目標、指導原則、仕事の重点などを制定した。江蘇省の共産党委員会、省政府は持続可能な発展に関する大会を開き、「科学的な発展観を着実に実行し、持続可能な発展を促進するための意見」を發布した。黒龍江省政府は、「市民全体に対する環境教育を展開することに関する決定」を公布し、生態省建設事業を市民全体への環境教育の重要な内容と位置づけた。吉林省、浙江省、山東省はそれぞれ「生態省建設の市民読本」、「生態省建設事業の基本知識」、「生態省建設事業幹部向け知識読本」を印刷、配布した。福建省共産党委員会、省政府は省の環境保護委員会を成立し、「環境保護を強化し、人と自然の調和が取れた発展を促進するための若干の意見」を公布した。海南省は各種の生態理論報告会を開催し、講師を組織して現場へ派遣し、生態省建設事業の知識を普及する。安徽省は6000名の青年幹部を選抜して、「安徽省ベスト100の生態村建設の実用技術100例」という本を携帯させ、

農村へ派遣し、農民に対し技術指導を行う。各地は多様な形式を通じ、社会全体における生態省建設の意識を高め、生態省建設事業を広範に知らせ、各取組みが着実に推進している。

(二) 循環経済と生態産業はすでに一定の成果を挙げた

各省は生態省建設事業の中で循環経済と生態産業を大いに発展させ、計画実施にあたり、様々なルートで資金を調達し、一部の重点プロジェクトをスタートさせた。遼寧省政府は「循環経済モデル事業の実施方案」を制定し、管轄するすべての地方級の市も循環経済の発展計画を立てた。5種類133のプロジェクトをスタートさせた。江蘇省は「生態省建設事業に関する計画要綱」を編制すると同時に、また「循環経済の建設に関する計画」を編成した。108に上る循環経済建設の試行事業者、10個のモデル事業者を決め、そして、2010年までに2000億元以上を投入し、8大の重点生態プロジェクトを実施することを計画している。浙江省は2004年にはすでに重大な生態省建設プロジェクトに85億元を投入し、2005年には161億元を投入する計画があり、とりわけ「工業園區の生態化建設」とのモデル・プロジェクトを実施し、7社の企業のクリーン生産審査を完成し、7つのグリーン農業モデル県と17の省レベルの健康肥料耕地模範県事業を組織・展開した。黒龍江省は生態が良好である利点を発揮し、緑色、有機食品の作付面積は3490万畝に達し、549の農産品が開発され、全国の緑色食品の総数の15%を占め、195億元の生産額を実現した。吉林省は重点的に緑色農産物基地の建設を支援し、有機食品、エコ食品の認証と、生産基地の環境モニタリングと評価を強める。福建省は積極的にクリーン生産の審査とISO14001環境管理システムの制定を通じ、目標任務を分け、実行させる。そして、定期審査を行い、生態認証を推進し、一部の生態農業モデル（試行）県と有機食品基地を建設した。浙江省、吉林省、安徽省はまた生態省建設事業の専門資金を設立し、生態産業の重点プロジェクトの展開を推進した。

(三) 生態環境保護と建設の度合いを絶えずに強化する

各省は生態省の建設過程の中で、突出した環境問題をめぐり、厳格に法を執行し、管理を強化し、環境保

護と生態建設を力強く推進する。山東省共産党委員会、省政府は「水汚染の予防と処理を加速することに関する決定」を發布し、淮河、海河流域において、215の汚染処理プロジェクトを実施した。浙江省政府は全省の環境汚染防止会議を開き、「1000の模範村を作り、10000の村の環境を改善する」、「万里の清水河川」などのキャンペーン活動を重点にした都市・農村環境総合対策取組みを展開した。2004年には、すでに100の模範村の建設を完成し、1000の村の環境対策を実施した。2003キロメートルの河道に対し、総合的な修繕を行った。吉林省は生態系が脆弱な地方の修復と整備を強め、省内の西部地区における草地の退化やアルカリ性土壌の土地の改良において、初歩的な成果を挙げた。黒龍江省は生態保護と建設を強め、森林面積は43.6%に達し、全省は96万ヘクタールの土壌流失土地を修復し、黒い土壌の地域の生態系の保護と回復に良好な基礎を打ち立てた。海南省と河北省は農村における文明的生態村の建設に力を注ぎ、現在、海南省はすでに4133に上る文明生態村を作りあげ、全省の自然村総数の18.3%を占める。河北省における文明生態村の建設事業も一定の効果を表し始めている。4800の試行単位があり、2020年まで、全省のすべての行政村を文明生態村に建設する。福建省は流域、地域と業界における総合的な汚染対策を深化し、面源汚染の対策を強める。2004年には全省12の主要水系において、Ⅲ類水質基準に達し、または超過した面積は83.6%を占めた。江蘇省は6部門が共同で「農村部における居住環境の建設と総合的な環境対策モデル事業の展開に関する通知」を發布し、「農村の小康生活と環境保護に関する5年行動プラン」を制定し、生態村、グリーン・コミュニティ、環境の美しい郷鎮、エコ・モデル地区建設などの活動を大いに推進する。これらの活動は下から上へ、点から面へ、システム化され、生態省建設事業の展開に堅実な基礎を定めた。

(四) 生態省建設事業はすでに規範化、法制化の軌道に乗っている

指導を強化し、統一的に協調するために、生態省建設事業を展開する省は、みな省の共産党委員会と省政府の主要指導幹部をグループ長とした、発展改革、環境保護、財政、建設、国土資源、農業、水利、林業、宣伝、教育などの関係部門が参加した生態省建設指導

グループを設立した。その下に専門の事務室を設け、環境保護と発展改革部門が主導で、関係部門が仕事を分担し、責任を負う体制を作り上げた。各省は生態省建設の目標責任制度省建設事業の深化を推進する。山東省共産党委員会、省政府は「生態省建設事業を加速するための意見」の中で、生態省建設事業の目標を各級の党の委員会や政府部門の指導幹部の業績審査に取り入れる。浙江省は「生態省建設事業の目標責任審査と奨励方法」と「生態省建設事業の仕事審査と評価指標体系」を制定し、年度ごとに省が直轄する部門及び各地区・市における生態省建設事業の任務書の完成状況に対し、審査を行う。黒龍江省は「黒龍江省生態省建設事業の基準」を制定し、毎年省長から各地区・市、各部門と責任状を結び、連続3年で生態省建設の年間目標責任制の審査を実施した。

「生態省建設の全体計画綱要」を着実に実行させ、体系化させるために、浙江省、山東省、黒龍江省、江蘇省、安徽省は所轄の市や県に生態市、生態県の建設計画を編成するように要求した。現在、浙江省、山東省、黒龍江省、江蘇省、安徽省が管轄する地方レベルの市は全部生態市建設の計画を編成し、同級の人民代表大会の常務委員会の審議を通過し、公布、実施されている。2004年、海南省は経済と社会の発展の新しい情勢を結びつけ、また1999年に公布した「生態省建設計画要綱」を修正し、一連の地方環境保護法規を制定した。福建省は「福建省環境保護条例」を改正し、「福建省農業生態環境保護条例」、「福建省海洋環境保護条例」を作り出した。黒龍江省、江蘇省、山東省、安徽省の人民代表大会常務委員会はそれぞれ「生態省建設に関する決議」を公布し、山東省、黒龍江省、浙江省、海南省の人民代表大会常務委員会は、また各省における生態省建設の法執行の状況に対する検査を展開した。

二、科学的発展観を指導とし、絶えずに生態省建設の内包を充実させる

2003年、国家環境保護総局は生態省建設事業の指標の中で明確に、生態省とは社会経済と生態環境がバランスの取れた発展を遂げ、それぞれの領域において基本的に持続可能な発展の要求に適した省級の行政地域であると定めている。生態省建設の具体的な内容と

しては、持続可能な発展の理論と生態学及び生態経済学の原理を運用し、経済の成長方式の転換と環境質の改善を前提とし、産業構造の調整という重要な環節をしっかりと掴み、地域における生態と資源の優位性を十分に発揮し、環境保護、社会発展と経済建設3者を統一的に計画・実施し、基本的に地域社会経済の持続可能な発展を実現させる。共産党の第16回3中全会以来、党中央は科学発展観、社会主義の調和した社会を樹立、実行することを提出した。そして、最近国務院は循環経済の発展を速めることを提出し、生態省建設事業の発展方向を明示し、生態省建設事業の内包を充実させた。

(一) 生態省建設事業の指導思想は科学的発展観である

経済成長、社会発展、環境保護は持続可能な発展の3つの柱であり、科学的発展観はこの3者の関係を正確に処理することを要求し、人と自然の調和のとれた発展を強調する。生態省建設の目的は経済、社会、環境の調和を促進することであり、これは科学的発展観の要求と一致し、そのため、科学的発展観で生態省建設事業を指導し、生態省建設事業の中で、科学的発展観を実行し、経済構造の調整と成長方式の転換を促進でき、経済成長の質を高められる。また、投資環境を向上させ、より早く、よりよい発展を実現できる。そして、環境保護産業と関連産業の発展を促進でき、新しい経済成長のポイントを育てられる。環境汚染問題が誘発した社会問題や争いを予防・緩和でき、社会の安定と調和を促進する。さらに、社会全体の環境意識と道徳の素質を高めることができ、社会主義の精神文明の建設を促進する。国家の長期利益を守ることができ、子孫たちに良好な生存と発展の空間を残しておく。

(二) 生態省建設は循環経済を核心にすべきである

循環経済は人と自然の関係を協調させることを準則とし、自然の生態システムの運行方式と法則を模倣し、資源の持続可能な利用を実現し、社会生産を数量型の物質成長から質量型のサービス成長へ転換させる。循環経済はまた自然、経済、社会の各領域、生産、流通、消費の各段階および地域、産業、企業など各方面に関わる系統的なプロジェクトである。マイクロ・レベルにおいては、企業の省エネ、資源利用率の向上、ライフサイクルにおける減量化、廃棄物と汚染物の削減を要

求し、中間レベルにおいては、産業チェーンの延長と拡大を要求し、産業間の連結を促進する。マクロ・レベルにおいては、産業構造と地域の配置を調整することを要求し、企業間、産業間、地域間、都市と農村間の資源の循環利用を協調する。循環経済は生態法則に基づき、生産全体、消費と廃棄物の処理過程を組織することを要求し、その実質は一種の生態経済であり、これはまさに生態省建設事業が大らかに提唱すべき新しい発展パターンである。

(三) 生態省建設は環境質を改善することを出発点とすべし

生態省を建設するには環境質を大いに改善すべきである。生態省建設の取組みをめぐり、生態環境の改善に注力し、新たな借金をしないことを決意し、そして、今まで環境汚染と生態破壊による古い借金を完済する。絶え間なく環境保護の法律、法規、制度、基準を完全させ、環境監督・管理を強化する。環境整備を大いに推進し、管轄区内の大気質と水質の改善、生態系の安定、調和を実現する。

大いにエコ・ハウスの建設を推進し、美しく快適で、調和がとれた人間の生活環境を建設する。人を本とし、科学的に計画し、都市とコミュニティの建設、小城镇の建設、村作りの中で、現代の理念と伝統文化の融和をやり遂げ、人間の生活環境を経済基礎に適合させ、人間の生活環境と自然環境を調和させ、美しく調和のとれた、機能の揃った、生活に便利で心地よい人間の生活環境の実現に努力する。

(四) 生態省建設は調和がとれた社会を築きあげることが目標とすべし

我が国の経済社会の持続可能な発展にとって、人と自然の調和が基礎であり、地域、都市と農村、経済と社会の統一発展を内包とした社会の調和が目標であり、内外の統一的な計画案配は手段である。生態省を建設するとは、人と自然の調和を実現させ、人口、資源と環境の3者の有機的な統一を図り、未発達地区と後代のためにもっと多くの資源と発展空間を残し、「環境破壊による貧困」を防止し、もっと高い段階で社会公平を推進し、生活質の格差を縮小することである。

三、真理を追求し、着実に行動し、絶えずに生態省建設事業を深化する

当面、各地の生態省建設事業は一定の進展を遂げたとはいえ、全体的に見ればまだスタートしたばかりの段階にあり、これは長期的な、複雑で、非常に困難な任務であるため、簡単に成功できるものではない。生態省建設の理論と実践、組織と管理、政策と法制などの面において、まだ引き続き絶えず研究・探索する必要がある。

(一) 生態省建設事業の中で循環経済を大いに発展すべし

循環経済を発展することは環境と発展の矛盾を解決する根本的な対策である。循環経済を発展することを生態省建設の計画を編成・実施するための重要な指導原則とし、循環経済の推進計画を制定・実施し、循環経済の政策体系、評価システムと関連の基準、技術開発とイノベーション・システムの建設を加速する。「減量化、再利用、資源化」の原則に基づき、製品と工業園区のエコロジー設計と改造を推進し、産業生態化の発展を促進する。生産段階においては、排出強度の準入を厳格化させ、省エネを奨励し、クリーン生産を実施するうえに、法に拠って強制的に審査する。ものを廃棄する段階においては、汚染予防の生産過程全体に対する制御を強化し、拡大生産者責任制度を実施し、合理的に産業チェーンを延長させ、各種の廃棄物の循環利用を強化する。消費段階においては、環境に配慮した消費パターンを大いに提唱し、環境ラベリング制度、環境認証制度及びグリーン政府購入制度などを実施し、再生資源の回収利用システムを健全化させる。建築分野における省エネの取組み、エコ・建築を発展させる。汚水の再生利用とゴミ処理や資源化回収を推進する。循環経済の発展を促進する一連の取組みを積極的に推進する。

(二) 生態省建設事業は、各地の実情に適した措置をとり、現地の特徴を突出すべし

生態省建設事業は科学的発展観を実行し、地域の持続可能な発展戦略を実施する具体的な方式であり、東部の省は生態省を建設でき、中部、西部の省も同様に生態省を建設できる。我が国の東、中、西部の自然条件の違いによって、社会、経済の発展段階は格差を有するため、各地における生態省建設事業の方式も異

なっている。海南省が生態省を建設するに際しての優位性は、その良好な生態環境にある。吉林、黒龍江省の優位性は緑色食品や有機食品を積極的に発展させるところにある。浙江、江蘇省は生態省建設事業を計画する時、資源の不足を十分に考慮し、積極的にハイテク技術産業を発展する。遼寧、山東省は古い工業基地の改造と結びつけ、積極的に異なるレベルにおける循環経済を押し広める。同様に、福建、安徽、陝西、河北、四川、天津、広西などの生態省建設事業の特徴も異なっている。各地はそれぞれの土地の実情に適した措置をとり、優位性を発揮し、長所を生かして短所を避け、生態省建設事業の計画要綱の戦略目標に基づき、循環経済（エコロジー産業を含む）、生態環境、環境文化などの面において、各地方の特色を体現する。

(三) 生態省建設事業は下部から動きだし、基礎を固めるべし

生態市、生態県、環境の美しい郷鎮や文明生態村建設は生態省を建設する基礎的な取り組みと細胞プロジェクトであり、生態省建設事業の全面的な推進の重要な保証となっている。生態省建設の基準の中で、3つの80%の基本要件があり、即ち省内には80%に上る市が生態市に達成すること、生態市内には80%の県が生態県の基準に達すること、生態県内には80%に上る郷鎮が環境の美しい郷鎮の基準に達すること。それゆえ、生態省建設事業は、着実に生態市、生態県、環境の美しい郷鎮の建設をやり遂げなければならない。今年の中央人口資源環境工作座談会に、胡錦濤総書記はわざわざ農村部における環境保護事業に対し具体的な要求を下した。広大な農村部における環境破壊の深刻な現状に対し、都市化プロセスと結びつけ、都市部は農村部を引っ張り、都市部の郊外、農村部の環境総合対策と文明生態村建設を大いに推進する。有機農業、生態農業あるいは循環農業を育成することを通じ、養殖業や栽培業による面源汚染を処理し、農村部における経済社会と環境の調和が取れた発展を促進する。下から上へ、点から面へ、全体的に生態省建設事業を推進する。

(四) 生態省建設事業は、重点項目とプロジェクトの建設をうまくやり遂げるべし

重点項目とプロジェクトの建設は生態省建設事業の重要な内容である。生態省建設事業の計画要綱が確定

した任務と目標に基づき、循環経済、生態産業、環境保護と生態建設、生態居住環境、環境文化などの分野において、一部の重点項目とプロジェクトを指定し、人力、物資と財力を集中し、しっかりと建設し、なるべく早く実施し、効果を確保する。

(五) 生態省建設事業はイノベーション体制とメカニズムが必要

現在、生態省建設事業を展開する省は、すべて関連の職能部門が参加した生態省建設指導グループを立ち上げ、初歩的に部門間の分業協力メカニズムを構築した。すでに生態省建設事業を開始した省においては、引き続きこの推進体制を健全化させ、党委員会が指導し、人民代表大会が監督し、政府が管理し、各部門が分業して責任を負うなどにおいて、絶えずメカニズムの健全化と制度改革を探索し、生態省建設のための制度保障を提供する。これから生態省建設事業を始めようとする省は、指導機構を立ち上げ、計画綱要を編成し、人民代表大会の批准を受けてから実施する。生態省建設事業と結びつき、各部門、各ルートに資金、プロジェクトをできるだけ集中させ、投入のルートが変わらず、建設の内容が変わらず、管理責任が変わらないという原則に基づき、統一的に計画するうえ、科学的に配置し、総合的に処理し、規模効果を形成する。専門家によるコンサルティング機構を設立し、公衆参加制度を完全化させ、公示・評議活動を展開し、生態省建設事業の科学的な政策立案、民主的な意志決定レベルを高める。

(六) 生態省建設事業は全社会の広範的な参加を動員すべし

社会全体が参加し、広範に生態省（市、県）の建設事業の意味と効果を宣伝すべきである。群衆全体向けに科学的資源観、消費観と発展観、生態倫理道徳観の教育を広範に展開し、社会全体の環境意識を高める。厳粛に環境違法事件を摘発し、公衆参加を激励し、生態省（市、県）建設事業の中の社会全体が参加する良好な雰囲気を作り出す。市と県レベルの党や政府幹部向けの研修を行い、一部の下部幹部の生態省（市、県）建設事業の意味に対する認識不足、事業の内容と方法に対する不正確な把握、推進の度合の不足などの問題に対し、生態省建設と循環経済などに関する特定の研修を組織し、彼らによる建設事業への自覚性を高める。

積極的に多様な形式での国内外との協力・交流を展開し、世界の動きを追跡し、情報を収集し、すべての持続可能な発展に有利な先進的な理念、管理経験、科学技術成果を吸収し、共同で生態省（市、県）の建設事業を推進する。

同志の皆さん、循環経済を発展し、生態省建設事業を推進するには、各級の党委員会と政府の高度な重視が必要であり、各部門の共同行動も必要であり、社会

全体の積極的な参加も必要であります。私は社会全体が絶えず認識を高め、たゆまなく生態省建設事業を推進すれば、必ず我が国の国情に適合した持続可能な発展の道を探し出すことができ、全面的な小康社会を建設する偉大な目標を実現でき、中華民族の偉大な復興のために貢献できると確信しています。

ご静聴ありがとうございました。